

幼稚園の人としての醫學博士竹村一氏

三三

膳 眞 規 子

回顧すれば今より二十年程前の事で、大阪醫大の制服を着た學生の方が、大阪江戸堀幼稚園を參觀に來て下さつて、私の最も力を入れて居りました點を着眼して、幼兒の體格が非常に良く元氣で有ると喜んで歸られました。二三日を経て又參觀に來られ、今日は幼兒等と暫時一緒に遊ばせて下さいと言ふて、春日和の暖き庭園で砂遊びして居る幼兒の仲間に入りて大なる山又はトンネルなどを作る手傳をせられて、幼兒と共に樂しげに遊ばれました。

又二三日を経て來園、今日は十一時で學校が休みですので、幼兒と一緒に中食させて下さいと辨

當を持參せられました。園では此時間は毎日男女四人の幼兒の當番が、保姆監督の下に充分室内を清潔にし机の上に一輪草花又は小盆栽物を排べて成るべく綺麗に裝飾し、最も氣持よく靜かにゆるゆると咀嚼して中食するのを常として居ました。

氏も此仲間の一員として樂しく興味ある食事をなされました、又或日學校の歸りに園長さんに御依頼の件があるからと申されて面會を求められたのでお逢ひしました處、これから時々學校の歸りに參觀させてもらひたいと乞はれました、私はこれに答へて専心醫學を勉強なさいませ卒業の上幼兒教育を研究なさいましと申しました處、氏は私の

父は醫者でありましたが早く死去し母一人の手に成長し中學を卒へ、性來の子供好きで教育者にならんと志しましたが、私の希望に一人の同情者もなく終にいやいやながら、醫學の勉強をする事になりました、然し此希望は今日もなほ捨てないで暇さへあれば、中之島の圖書館に通ひ新刊の心理學や教育學に關する書を読んで慰めて居りますので、今後幼稚園にて親しく幼兒に接觸して實際の研究を致したいからお許が願ひたいと熱望されました。私は其熱望を拒み兼ねて其需めに應じました。併し其時私は氏を戒めて若き時は熱する事強きも冷却する事も早いものである、熟考せられてはと申しました處、氏は私の將來を末永く見て居て下さいと答へられました。

爾來暇ある時は來園され圖書館其他に於ての新刊によれる學理に基き幼稚園の爲め衛生上保育上に付き幾多の、注意と知識とを與へられ利益を受

くる事尠からざりし。時に教育大家の講演にて最も斬新として陳べられた學說も、私共は疾くに氏の講義によつて知り居るなど如何に氏の頭腦の卓越せしかを驚き又敬服しました、斯の如き氏の講義を唯江戸堀幼稚園の者のみ聽く事の、勿體なくと考へて西區内幼稚園は申迄もなく他區の幼稚園の人々にも傳へて一週一回之れを聽きました。即ち之れを江戸堀研究会と稱へました。此日には遠く岸和田堺市などから來會せられ時には五十名にもなつた事がありました、氏が日本で誰も未だ公開講義せられなかつたアウトワード女史の「幼稚園の原理と實際」の連續講義をされましたのも此時でありました（此時代に教を受けた人々は今尙其恩を感謝して喜んで居られます）

其後氏は中等教員の心理學教育?の檢定に合格して其資格を得られ、大阪府の學校衛生に大阪市の兒童相談に更に樟蔭高等女學校同女子専門學校

に兒童學を講せられ在職されて、ますます兒童研究をつづけて居られたが、昭和元年から再び大阪醫大に研究生として入學、石原博士に従ひ一層兒童研究をつまれました、其研究の効を奏し、昨年十一月幼兒學童の衛生に付ての論文によつて醫學博士の學位を受領せられました。舊冬十二月八日京阪神の知名の士女幼稚園關係者等によつて、盛大なる祝賀會が擧げられました。

以上氏の學生時代より知れる私として、其昔の追懷のまゝを記るして同氏の光榮を幼稚園の關係諸氏にわからたいと思ひ、序ながら氏に請ひて左の幼兒教育に關する記事を本誌に掲載する事といたしました。

